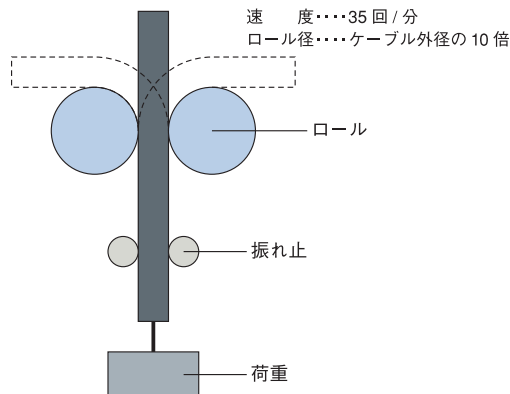


12. 耐屈曲試験方法

■ 左右屈曲試験

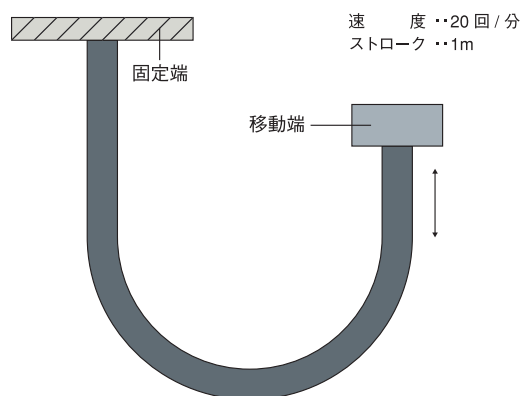
電気用品別表第一(7)へ(イ)b項に準じた試験で次の試験方法とする。

完成品から約2mの試料をとり、ケーブル外径の約10倍の円筒径の円弧に沿って90度屈曲させた後、直線状に戻し、次に反対方向に90度屈曲させた後に直線状に戻す操作を毎分約35回の速度で行う。



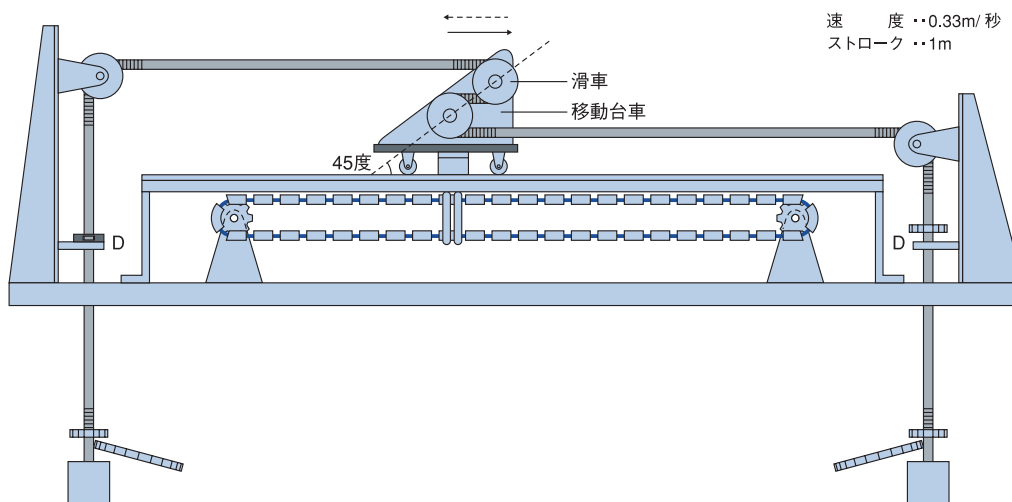
■ U字上下試験

完成品から約3mの試料をとり、図の試験装置にU字型に試料を取付け、ケーブルの一端を固定し、他端を毎分約20回の速度で1m上下に移動させる。



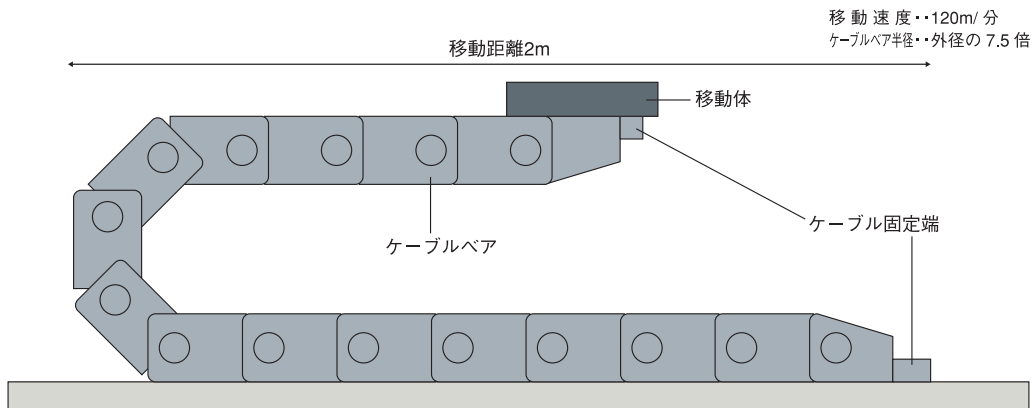
■ 移動屈曲試験

JIS C 3305(ビニルコード) および電気用品別表第一附表第二十六に準じた試験で次の試験方法とする。完成品から約5mの試料をとり、滑車を取付けた移動台車を次の図の試験装置に各滑車の部分が水平になるように取付け、その両端に1.5kgのおもりをつらし、移動台車を毎秒約0.33mの速さで1mの距離を移動させる。



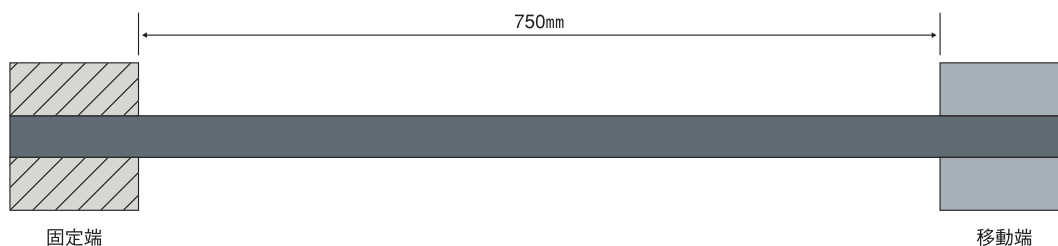
■ ケーブルベア試験

完成品から約2mの試料をとり、ケーブル外径の約7.5倍の半径のケーブルベアに取り付け、毎分約120m(60回/分)の速度で1mの距離を移動させる。なお移動中、ケーブルがお互いに干渉しないように、ケーブルの間隔を充分にとるものとする。



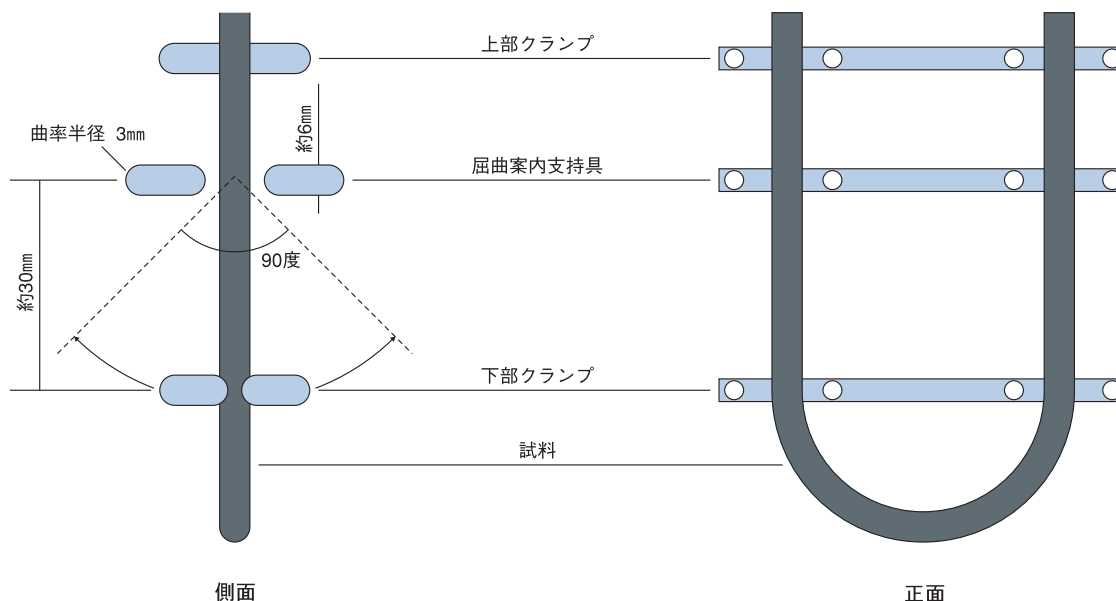
■ 捻回試験

完成品より約1mの試料をとり、一端を固定し、他端を毎分約60回の回数で、左右に180度捻じる。ケーブルを捻じる距離は750mmとし、荷重を掛けて行う。



■ 耐震試験

完成品から適当な長さの試料をとり、これをU字形に曲げ、その両端を次の図の耐震試験装置の上部クランプで固定し、屈曲案内支持具を支点として左右45度、毎分約200回の速さで下部クランプを屈曲させる。



※各屈曲試験条件は一例を記載しております。